



録と言う事なので、西山氏に転売方をお願いしたが、聞き入れられず西山氏が買い受けることとなった。

小立村は宮家に再度小立村の一方ならぬ骨折りにて宮家の「希望をかなえた事を申し上げ西山氏への転売の再考を願ひ出たが、「一度契約したのを解約するのは宮家の対面上でかかぬ。」と断られた。そのため小立村としては本意ながら宮家の為に新設した道路については、宮家が使用しないのならば村議会の議決を以つて廃道となし、湖岸よりの通行道路を断つべく、小立村を経由する借地の貸付をしない様河川課に陳情した。同時に無断使用者は告発するとの立て看板を水陸両面に立てた為に様相は一変。さすがの西山氏も交通を遮断された為出入不能となり、ついに諦め船津村に無償寄付されたのだが、小立村としては船津村に今までの実情を訴え、小立村に譲渡方をお願いしたところ、船津村に於いては種々方法協議を重ねた結果、村議会も様々な意見もあつたが、将来に渡り隣村と事を構えるは忍びないと、小立村に無償で寄付され、暫く懸案は解決した。

小立村と船津村は、昭和三十一年（一九五六）合併により河口湖町となり、また平成十五年（二〇〇三）十一月に近隣の勝山村、足和田村と合併し、富士河口湖町となり、さらに平成十八年（二〇〇六）三月には上九一色村南部地区とも合併し、大きな飛躍をあげているが、旧宮様別邸地は梨宮公園として新町の教育、文化、観光の発展と環境の保全に寄与している。先人の苦勞と宮家にかかわる歴史の流れをいたみ、故梨本護正殿下の面影を偲んではいかがでしょうか。

以上、『河口湖町史』から紹介してみました。  
（特別寄稿 ふるさとガイドの会 小佐野卓蔵）

### 重要文化財富士御室浅間神社 本殿保存活用計画について

町内勝山に所在する国指定の重要文化財富士御室浅間神社本殿の保存活用計画について、平成二十一年度から検討委員会によって策定作業を進めてきました。今年の三月に策定作業が完了し、文化庁の確認が済み、『重要文化財富士御室浅間神社本殿保存活用計画書』が完成いたしました。計画書には、重要文化財（建造物）の価値、保護のしくみ、申請等に必要となる書式を掲載しています。また、平成二十年度に実施された建造物の実測調査の図面も使用しています。さらに、付録のCD-ROMには、計画書のPDF版、建造物の実測図の縮尺五十分の一の原図データ（PDF版）を収録しています。町の生涯学習館に所蔵されていますので、閲覧や貸出しができます。ぜひ御利用ください。



## 「教育センターからのお知らせ」

「不登校になるきっかけ」・・・それがすぐ分かったら簡単です。しかし、現実はまだなかなか気付かず、いろいろな問題が絡み合っていて、複雑です。一つひとつ落ち着いて解いていくのが、一番の近道です。教育センターは、そんなときのお手伝いができると思っています。

### 不登校になるきっかけは・・・

- (1) 友達、先生などといった人間関係のトラブル
- (2) 病気などの長期の休み、学校での失敗等で自己で疎外感を抱いている。
- (3) 定期テスト、進級テスト等で成績が取れない。また提出物が出せないことから自己喪失
- (4) 家庭での心配事が強く、社会との接点が乏しくなり、閉塞感がある。
- (5) 自意識が過剰で、同級生や友達が自分のことをどう思っているか過度に気になる。

集団からはぐれた子ども達はとても不安なのです。対人恐怖に陥ったり、DV、自傷行為にまでなる場合があります。自分自身で対応しきれないのです。学校に行かずにその代償として、やることのないでパソコンやゲームにはまってしまったり、昼夜逆転してベッドや布団で過ごす事が多くなってきます。早めに気付き、不登校を克服し、輝きを蘇らせて、子ども達の自らの脚で歩めるように、支援していきましょう。一番大切なことは、子ども達の自立です。

次回は、「気付いたらどうしたらいいのか」について、少し考えてみたいと思います。

### 相談業務→「お子さんに関する悩み相談受け付けます。」

- 時間帯 「月曜日～金曜日 午前9時～午後4時」
- 場所 「富士河口湖町交流センター内(旧河口湖町役場2階)教育センター」
- 対象 「お父さん・お母さん・子どもさん・おじいさん・おばあさん・先生方」
- 連絡先 「富士河口湖町教育センター 0555-83-3022」  
「E-mail ed-center@kawaguchiko.ne.jp」

窓口相談、電話相談、メールでもかまいません。  
お気軽にご相談下さい。  
解決の糸口を一緒に考えましょう。  
(相談内容・相談者の秘密は堅く守られます。)

富士河口湖町女性交流センター

# みずうみ通信



## 戦争の時代に生きて

小立 相澤一雄(88歳)



私が少年の頃には日本の軍隊は強大な勢力をもっていたように見えました。日清、日露戦役で日本の領土は拡大しました。

やがて昭和六年、満州事変が、続いて上海事変が勃発。中国大陸で日支両軍が激突して戦いはさらに激化していきました。

私は、昭和16年2月1日現役兵で東京赤羽の「工兵第一連隊」へ入営し、まもなく渡満して「満州国黒河省遜呉」第九七〇部隊へ入隊、以来この地でソ満国境整備に就くこと三年。続いて昭和19年2月下旬、わが部隊へ南洋派遣の動員命令が下り、我ら川端隊はマリアナ諸島のロタ島の守備隊となりました。隊長は今川茂少佐。上陸後、早速陣地造り作業を開始。6月16日、米軍二ミツ將軍の大機動部隊がマリアナ諸島を包囲し、主なる三島であるサイパン島、テニアン島、グアム島は敵軍の猛攻撃により、守備の日本第一〇一師団の数万名の部隊は敗れ無く敗れて全滅しました。ロタ島は小さな島であった為に連日に渡り爆撃を受けたものの敵軍の上陸はなかつたので九死に一生を得ることができました。真に運命というものでしょうか。

昭和20年8月15日、日本は遂に聯合軍へ降伏

しました。9月4日、よく晴れあがった日、米軍がロタ島守備隊の武装解除と、グアム島移転作業のため、タタチヨ地区に上陸して来ました。我らは、これまで天皇陛下より預かった大切な小銃と帯剣を海岸線へ積み上げられ、丸腰となりました。その時、しみじみと敗戦を実感しむなしさでいっぱいでした。

そして、今後はどうなるのか不安でした。あの時見た、日焼けてまっ赤な米兵の顔と巨大な姿が今なお臉に浮かんで来ます。

川端中隊は、9月4日米軍によってロタ島からグアム島へ移送され収容所に入りました。それ以後の一年と三ヶ月、米軍基地の使役作業を続けましたが、長く苦しい日々でした。

わが工兵第一連隊は明治五年に創立されて日清、日露戦役においては、軍功により感謝状を授与されたと聴いております。しかし、今度の戦争では、連隊は各方面へ分遣されてレイテ島、グアム島、ロタ島、満州残留と分けられ、戦いました。その八割以上の兵士が戦死したのです。なんと悲惨な戦争でしょうか。

私は、昭和21年11月下旬、グアム島の収容所から六年ぶりに故郷へ戻りましたが、始めて父の死亡と弟の紳太が沖繩本島で戦死したことを知り、愕然としました。辛く悲しい出来事でした。戦後すでに65年ですが、今も毎朝線香をたむけて居ります。

私は、すでに亡き弟の四倍も生き続けているのです。平和な世で幸せに暮らしていた人が、ある日突然に銃を持たされ、生死を決する戦場へと送りこまれ命を奪われる。誰も願っていない恐怖の現実が直面する。これが社会の現実です。戦争は人間の果てしない欲望の産物です。

どうか皆さん、先人の悲惨な犠牲のもとで築かれたこの尊い平和の世が未来永劫に続くことを切に祈りペンを置きます。

## 戦争体験記に寄せて

センターみずうみ 編集者

戦後65年、今年も暑い夏でした。

広島と長崎では「原爆死没者慰霊式」「平和記念式」が営まれ 核兵器廃絶と世界平和を祈り、そして訴えました。

八月は、国中の老若男女すべてが、戦争と敗戦に真正面から対峙して平和意識を深めるべき大切な月です。新聞テレビでは連日特集して、65年前の戦争の悲劇と滅亡を報道していました。当時に生きた高齢の方々はどんなお気持ちでご覧になられたか辛くなります。

半面、戦争を知らない世代の人々は、どのように過去の戦争と敗戦に向き合ったのでしょうか。私は、戦争の悲劇の継承こそが平和と反戦意識につながるものと信じています。

センターみずうみでは、昨年「戦中戦後の記憶をたどって」と題して広報への投稿をお願いしてきました。

「平和意識の高揚は、地域から根づかせる」そんな考えで意気込んで呼びかけたものの、戦争体験者の減少と風化が取り沙汰される中、書いて下さるだろうか、と気になっていました。しかし予想に反して、自ら寄稿してお届けいただく克明な体験記、まさに驚きと感動でした。同世代に生きた私は幾度涙して拝読したでしょうか。

60数年、封印されてきた皆さまの記憶は、映像のように鮮明で胸にしみます。

このたびの体験記は平和を願う教科書として、子や孫の世代へ継承してまいります。ご協力誠にありがとうございます。

# 富士と湖の 自然をみつめて

Nature in and around Mount Fuji



## 富士山生物多様性研究イニシアティブ・プロジェクト(その4)

7月の「湧水と里山環境」のプロジェクト(北垣憲仁;都留文大特任准教授・河口湖フィールドセンター非常勤研究員)は9~11日に行われました。カヤネズミは初夏と秋に繁殖すると考えられていますので、繁殖用の巣は確認されませんでした。絶滅危惧水生植物バイカモと共生する水生昆虫や貝類の様子が水中カメラで撮影され、これまで未知だったバイカモの水辺環境における「水辺の浮島」としての貴重さが浮き彫りになると同時に、今後の調査方法がほぼ確立されました。

17~19日に行われた「草原と林の鳥」プロジェクト(西 教生;河口湖フィールドセンター自然共生研究室研究員)では、鳥たちがヒナを育てる時期に入ったと思われ、キビタキとオオジシギのさえずりが聞かれずに苦労しましたが、河口湖フィールドセンター周辺の自然林と人工林・梨ヶ原で行っている鳥類の種と個体数の調査をボランティアと一緒に行うことによって、これらの



場所が富士山に住む鳥たちにとって、大変重要な場所であることをボランティアの人たちに理解してもらえたと思います。

また、23~25日に行われた「絶滅危惧チョウ類」プロジェクト(渡辺通人;河口湖フィールドセンター館長兼自然共生研究室長)では、本栖高原と野尻草原・梨ヶ原という富士北麓三大草原地帯と身延町でのミヤマシジミをはじめとした絶滅危惧チョウ類の生態調査が行なわれ、富士山の草原の特性や、火入れがされている場所されていない場所での違いを含めた富士山の里山環境の大切さを実感してもらえたと思います。

8月には最終節の3プロジェクトが行われ、予定された計12回のプロジェクトが全て終了する予定です。



## 無戸室浅間神社(船津胎内神社)で夏にもウサギコウモリが見られました

河口湖フィールドセンターが管理を委託されている無戸室浅間神社(通称:船津胎内神社)で、例年は夏だけに見られるウサギコウモリが、3月末~4月上旬に見つかったことをすでに広報でお知らせしましたが、今年も6月下旬になってからも見られるようになりました。4月2日には背中にピンクの1をマーカーで書いておいたのですが、6月から見られたウサギコウモリにはこのマークが見られませんでした。背中を自分できれいに洗ってマークが見えなくなったのか、別の個体が現われたのかははっきりしませんが、富士山麓でも個体数の少ないウサギコウモリが8年以上連続して胎内樹型と神社を利用していることがわかり、剣丸尾溶岩流上の自然林と溶岩樹型の貴重さを改めて痛感しています。

猛暑の続くこの夏、例年9月までしか見られないウサギコウモリが、いつまでこの神社と溶岩樹型を利用するのか、大切にしながら興味深く見守って行きたいと思っています。



### ショート・ニュース

- 7月10日に経団連CSR担当者研修会の第二日目が河口湖フィールドセンターで開かれ、午前中は3グループに分かれてのガイドウォークが、午後には「富士山の生物多様性と保全」と題した講演が行われました。
- 第3回富士山写真展「富士山の里山~里山の自然がもたらす生物多様性~」を、8月1日~9月30日まで河口湖フィールドセンター研修室で開催しています。
- 9月17~20日に岐阜大学で開催される野生生物保護学会・哺乳類学会合同大会で「絶滅危惧種ミヤマシジミのメタ個体群構造について」と題して口頭発表する予定です。
- 第13回ホテル・オオムラサキ賞の作品募集(自由研究・ポスター・作文・写真)が、9月30日を締め切りとして行われています。今年も多数のご応募を期待しています。



**県民の日富士吉田会場出演者・出店大募集**

10月23日(土)、富士北麓公園陸上競技場前広場で行われる「県民の日」の「ふれあい広場」への出演、フリーマーケットに出店しませんか？

**ふれあい広場ステージ出演者の募集**

■参加資格 県内に在住する方、グループ。プロ、アマ不問。高校生以下は保護者の承諾が必要

■発表内容 内容不問。但し、カラオケや公序良俗に反するもの、運営上支障となる場合以外  
※応募多数の場合、抽選により主演者を決定

**フリーマーケット出店者募集**

■募集内容 区画数25 ■出店料 5000円  
抽選により出店者を決定します

■募集締切 9月15日(水)  
●申込・問合せ

県民の日富士吉田会場運営委託先  
(株)アドブレン社 企画制作局  
TEL 055・231・3311  
(土・日は除く)

**第21回富士五湖広域住民交流スポーツフェスティバル**

職場の仲間、友達、家族とソフトバレーボールでさわやかな汗を流そう！

■開催日 11月14日(日)  
■参加対象 富士五湖地域に在住もしくは勤務している中学生以上の方

※大学のバレー部に所属している方、国体等全国大会出場経験者は各チーム1名まで

■申込 所定の申込用紙にご記入の上、町役場企画課又は富士五湖広域行政事務組合振興課へ

■申込期間 9月30日(木)まで  
※但し144チームに達した時点で締切り

●問合せ 富士五湖広域行政事務組合振興課  
TEL 23・5270

**富士北稜高等学校公開授業及び平成23年度前期募集入学者選抜説明会**

■日時 10月13日(水)  
■対象 中学校教員・保護者及び一般の方  
■日程 公開授業 午後2時30分～3時20分(各教室)

●その他 説明会 午後3時30分～(視聴覚室) 上履きをご持参下さい

●問合せ 富士北稜高等学校(TEL 22・4161)

**富士河口湖町野球協会 町制祭第7回軟式野球大会**

■日程 10月3日(日) 予備日10月17日  
■場所 くぬぎ平運動場 小立  
■参加対象 富士河口湖町内に在住もしくは勤務している方

※代表者会議までに、参加者の定住確認や勤務地の確認を行います。選手参加名簿に会社の認証等を添付してください。

※その他詳細は代表者会議で説明します  
■参加料 1チーム5000円

※但し、町野球協会費を支払っていない場合は、協会費として、別途5000円が必要

■申込期限 9月17日(金)正午まで  
●申込・問合せ 富士河口湖町野球協会事務局  
TEL 090・9005・6865

**テニススクール開催のお知らせ**

富士河口湖町テニス協会では初心者の方を対象に硬式のテニススクールを開催します。テニスを始めたいと思っている方、子供にテニスを考え

ている方は、この機会にテニスを始めてみませんか。

■日程 10月3日、10日、11日、24日、31日、11月14日、21日、28日

●対象及び費用  
○小学生初心者向け 8回  
午前10時50分～11時50分 2千円

○一般初心者向け(中学生以上) 8回  
午後3時45分～4時45分 2千円

■場所 栗山台テニスコート(勝山)  
■締切 9月22日(水)

●問合せ テニス協会  
TEL 090・8586・2917 流石

**富士河口湖町体育協会スキー部 親子グラススキー教室・練習会**

■日時 9月18日(土)、20日(月)、23日(木)、10月9日(土)、23日(土)  
午前10時～正午

■出発 1時間前に民宿八崎園前から各家庭の自家用車で移動します。

■場所 サンパーク都留グラススキー場  
TEL 0554・451388

■対象 スキーブーツが21cm以上の親子(レンタルが21cm以上のため)

■滑走料 1回につき高校生以下1040円、大人1570円(レンタル込み)

■持ち物 カップ・タオル・手袋・着替え等  
※雨天決行です。(荒天時は中止の連絡をします)  
※傷害保険は各自で加入してください。

■申込方法 各日程の1週間前までにFAXで氏名・年齢・学年・電話番号・住所を明記して申し込みください。

●問合せ 河口湖スキークラブ事務局  
坂本栄樹 民宿八崎園小立9121  
TEL 090・4749・4007  
FAX 0555・72・1736



**富士ビジターセンター**  
**「富士山教養講座 富士を知ろう」**

「富士の紅葉 御中道・奥庭  
 ゆつくりトレッキング」  
 紅葉シーズンの富士山五合目で富士山の自然  
 観察や成り立ちを学んでいただけます。

- 日 時 9月26日(日)  
 午前9時30分～午後1時30分
- 定 員 10人(申込順・要予約)
- 参加費 無料(交通費は各自の負担)
- 参加条件 山歩きができる健康な方
- 場 所 富士山御中道・奥庭
- 申込・問合せ 富士ビジターセンター  
 TEL 0555・72・0259 山下

**第34回ヨハネ祭**  
**「おいでよここに!みんなのヨハネ祭」**

- 日 時 9月26日(日)雨天決行  
 午前10時～午後2時30分
- 場 所 忍野村 富士聖ヨハネ学園
- 内 容 学園紹介、模擬店、社協ボランティア  
 の出店、子供広場、その他催し物など
- 問合せ 富士聖ヨハネ学園 TEL 23・5155

**第18回地場産業まつり**

- 日 時 9月25日(土)、26日(日)2日間  
 午前9時30分～午後4時
- 場 所 郡内地域産業振興センター
- 内 容 織物、アクセサリーなどの宝飾品やお  
 菓子、ワインなどの販売やクラフト  
 マーケット、クラフト体験、お楽しみ  
 抽選会、勝山スズ竹伝統工芸実演、飲  
 食コーナー、太鼓の演奏など
- 問合せ (財)山梨県郡内地域産業振興センター  
 TEL 0555・24・4406

**富士吉田共同高等職業訓練校**

- 塗装教室Ⅱ  
 壁や屋根などの上手な塗装の仕方を学びます。
- 日 時 9月26日、10月3日、10日、17日(日)  
 4日間 午前8時～午後5時
- 定 員 10名 ■受講資格 一般男女
- 受講料 15000円 ■締 切 9月15日
- 問合せ 富士吉田職業訓練協会  
 TEL 22・5214

**県立都留高等技術専門学校(在職者訓練)**

- アクセス基礎・応用講座Ⅱ
- 日 程 11月初旬から12日間 午後6時～9時
- 受講料 4200円 ■定 員 20名
- 品質管理の基礎講座Ⅱ
- 日 程 11月中旬から6日間 午後6時～9時
- 受講料 2100円 ■定 員 15名
- 規定の用紙に記入し、申し込んで下さい。  
 ※詳しいことは、県立都留高等技術専門学校へ問い  
 合わせて下さい。
- TEL 0554・43・8911  
 FAX 0554・43・8912

**県立産業技術短期大学校(在職者訓練)**  
**「在職者訓練のおしらせ」**

- 商業簿記三級講座Ⅱ
- 10月1日～計15日間、午後6時～9時
- 受講料 4200円
- 初心者のためのパソコン講座Ⅱ
- 10月18日～計6日間、午後6時～9時
- 受講料 2100円
- 問合せ 県立産業技術短期大学校  
 TEL 0553・32・5202

**法の日週間**  
**10月1日「法の日」から1週間**

最高裁判所、法務省及び日本弁護士連合会では  
 法の日10月1日から一週間を法の日週間とし、法  
 を尊重することの大切さについて啓発活動を実  
 施しています。

**「未来の裁判員候補者の皆さんへ」**  
**「裁判を体験してみよう!」**

- 日 時 10月16日(土)  
 午前9時30分～11時30分
- 対 象 小学校高学年・中学生 ■定員 30名
- 内 容 ビデオ鑑賞「裁判所ってどんなところ?」  
 裁判員制度について説明  
 実際の法廷で、模擬裁判の体験  
 裁判員裁判用法廷見学
- 場 所 甲府地方・家庭裁判所  
 甲府市中央1・10・7
- 締 切 10月8日(金)まで
- 申込先 甲府地方裁判所事務局  
 TEL 055・235・1133  
 甲府地方検察庁企画調査課  
 TEL 055・235・7234

**オータムジャンボ宝くじ**

- ☆1等・前後賞あわせて2億円☆
- 1等1億5千万円×13本
- 2等1千万円×130本
- 発売期間 9月27日(月)～10月19日(火)
- 抽選日 10月26日(火)
- この宝くじの収益金は、市町村の明るいまちづくりや環境対策、高齢化対策など住民福祉の向上に使われます。



**交通事故からあなたの未来を守る  
自賠責保険・自賠責共済**

「有効期限は切れていませんか？」  
自賠責保険・共済は、万一の自動車事故の際の基本的な対人賠償を目的として、原動機付自転車を含むすべての自動車に加入が義務付けられており(自動車損害賠償保障法)、自賠責保険・共済なしでの運行は法令違反ですのでご注意ください。四輪車ももちろんですが、特に、車検制度のない250CC以下のバイク(原動機付自転車・軽二輪自動車)は、有効期限切れ、かけ忘れにご注意を！

なお、自賠責制度の詳しい内容はこちらから

<http://www.jibai.jp>

●問合先 国土交通省山梨運輸支局

TEL 055・261・0880

**パーキンソン病医療講演会**

難病といわれる病気ですが、正しい診察と自分の体にあった服薬等により、通常の生活を維持することが可能です。基礎から最新の治療方法までもう一度学んでみませんか？

●日程 10月3日(日)午後1時30分～

●場所 県立男女共同参画センター

「びゅあ富士」都留市中央3・3・3

●対象 患者、家族、医療関係者等どなたでも

●講師 甲府病院神経内科科長 林正高氏

「パーキンソン病をよく知り、

病気と仲良く過ごすために」

●参加費 500円(資料代等)会員無料

●申込 TEL 0554・20・3663 田辺

TEL 080・5175・3663

※主催 全国パーキンソン病友の会

山梨支部 TEL 055・253・9666

**第18回ふれあい医療作文コンクール**

苦しかった病気、ケガ、手術を受けた病院、かかりつけ医院、お医者さん、看護師さんとのふれあいなど、医療の体験を通して感じたこと、将来お医者さんや看護師になってみたいという夢などを作文にしてください。

●応募資格 小学生以上の県内在住者、出身者あるいは県内での体験者

●規定 1200～2000字 未発表のもの

●締切り 10月末日

●応募・問合先 山日YBS事務局

「ふれあい医療作文コンクール」係

TEL 055・2313121

**山梨大学医学部付属病院から**

「紹介状(診療情報提供書)持参のお願い」

山梨大学医学部付属病院は、主に高度な医療

**富士吉田市制施行60周年記念事業**

**宝くじスポーツフェア  
「ドリーム・ベースボール」  
名球会、OBクラブがやって来る!**

日本プロ野球名球会と全国野球振興会(日本プロ野球OBクラブ)のメンバーによる少年少女ふれあい野球教室や、ドリームチームと富士吉田市選抜チームによるドリーム・ゲーム、名球会の金田正一氏の講演会を行う予定です。往年の名選手が富士吉田市へ多数来られます。野球ファンのみならず、多くの皆様方のご来場をお待ちしております。



【出場予定選手】名球会選手 山本浩二、村田兆治 外6名  
OBクラブ選手 16名

日時 9月26日(日) 9時30分～15時(9時開場)

会場 富士北麓公園野球場 (雨天時:富士北麓公園体育館)

**内容**

- 9:00 開場 (先着 1,000名に宝くじグッズプレゼント)
- 9:30 少年少女ふれあい野球教室
- 10:30 ふれあい講演会 (講師:金田 正一氏) (予定) ※講演会は、富士北麓公園体育館で行います。
- 12:00 ドリーム抽選会 (正午までに来場した方に抽選で、名球会、OBクラブ選手のサイン入りバットやグローブ、ボールなどが当たります。)
- 12:30 開会式 (名球会、OBクラブとの記念撮影)
- 13:00 アトラクション(プロに挑戦) (元プロ野球選手に投手または打者で挑戦)
- 13:30 ドリーム・ゲーム (ドリームチーム VS 富士吉田市選抜チーム) ※雨天の場合は、内容を変更し、富士北麓公園体育館で行います。

入場料 無料(入場整理券が必要となります。)

問合せ 富士吉田市制施行60周年記念事業実行委員会事務局 (ドリーム・ベースボール担当) 電話番号 22-1111 (内線 272・382・423)

サービスを地域に効率よく提供することを目的とした「特定機能病院」であり、また現在までの治療内容・経過をお知らせいただくことで診療および検査をスムーズに始めるために、原則として他の医療機関から本院あての「紹介状(診療情報提供書)」が必要となります。特に本年4月から一部診療科における初診の方の診療については、紹介状持参患者さんのみを対象としています。初診予約については、精神科を除き、他の医療機関からの予約のみとし、患者さんからは直接予約を受け付けていません。本院を受信される場合は、外来案内をお確かめいただき、電話で受付の可否、休診等の確認をしていただいた上でご来院ください。ご協力をお願いいたします。

●山梨大学医学部付属病院

TEL 055・273・1111(代表)